

◎消防団の経費

消防団運営事業	【	消防総務課	】
---------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 消防団員等

意図 消防団の装備、資機材及び消防団の運営活動の充実強化を図り、また、団員の家族も含め福祉の増進並びに厚生を図り、消防使命の達成に資するため。

効果 消防団及び消防団員の充実強化を図り、団員が安心できる消防団活動を行うことができるよう図る。

【事業の内容】

- (1) 消防団運営事業
 - ・ 消防団員への報酬の支払い、分団器具置場及び分団車両の維持修繕、消防団員の被服の整備等を行った。
- (2) 団員福利厚生事業
 - ・ 消防団員及び家族を対象とした福利厚生事業を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,001	49,743	44,793		4,950
主な支出内訳				
・ 消防団運営事業				
消防団員報酬 436人				13,607
消防団員等公務災害共済基金掛金				1,435
消防団員退職報償金				7,318
消防団員貸与被服費				7,178
分団器具置場各所修繕料				587
分団車両修繕料				1,344
消防団無線機保守点検委託料				0
消防団用無線機転載等委託料				0
分団器具置場賃借料				320
神奈川県消防協会負担金				1,419
消防団員退職報償金負担金				8,448
・ 団員福利厚生事業				
消防団員家族慰安事業委託料				2,600

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 消防-04 消防団運営事業						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	231 消防団運営事業					
		233 団員福利厚生事業					
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	消防団活動の充実 消防団員の100%確保						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	44,793千円	50,811千円	48,672千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	44,793千円	50,811千円	48,672千円			
	人員配置数	0.6人	0.6人	0.5人			
	人 件 費	5,635千円	5,809千円	4,832千円			
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	50,428千円	56,620千円	53,504円			
	市民1人当 りの経費	286円	322円	306円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・消防団に対する市民の理解を深めるため、機会をつくり、アピールなどを通じて理解してもらう。 ・消防団員の100%確保。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・魅力ある消防団を目指し、被服等を増やすなど工夫している。 ・町内会や消防団OBを通じて、入団を促進するとともに、ポスターを掲示したり、テレフォンサービス等の広報を実施している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・消防団員の100%確保。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・機能別消防団員や勤務地が市内の者の採用を検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	団員確保のため、必要に応じて説明会などを開催し、入団を促進していく。		
担当課長氏名:	堀 英彦		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	団員が災害時、適切に行動できるよう事業を充実させていく。		
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則